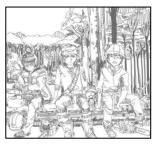
# No.56 不林大だより





## 2年生の授業のすがた

## 林業専攻

林業専攻は林業機械を使った専門実習を行っ ています。

5月27日~6月4日は、林内で森林作業道を 作設する実習を行いました。実習では、林内に バックホウを入れ、土を掘削したり、締め固め たりして崩れにくい作業道を作ります。途中に は切り株や転石もあり、バケットをうまく使っ て掘り起こしたりして荒道を作っていきました。

また、6月28日~7月2日は集材機を使った 架線集材実習を行いました。この実習では荷掛 け班、造材班、集材機班、仕分け班に分かれて、 機械操作や無線機での指示出しを行いました。

このように、2年生の林業専攻はより現場作 業に近い実習を行っており、秋のキャップス トーン研修に向けて、現場作業のノウハウを学 んでいます。



課題名

「ICTを活用した京丹波町の森を活かす方法」 を提案してください

森林公共人材専攻の2名は、京丹波町(クラ イアント)から上記の課題をいただき、現在、 提案内容を検討しているところです。生まれた 提案と、クライアントへの報告課程が、森林公 共人材専攻の「卒業研究」となります。

7月9日、京丹波町役場を訪ね、企画財政課 の担当者にインタビューを行いました。学生が 目下、提案として考える「木質バイオマスの利 用」や「子どもたちへの木育」について、町の 取組状況や担当者の思いを聞きました。

今年は、まずICTを理解するところから始ま り、飛躍的に改善される将来社会をイメージし ながら提案をつくることになり、なかなかの難 題になりそうですが、専攻生の健闘を祈ります。







## オープンキャンパス2021& 学校説明会を開催します

#### 『オープンキャンパス2021』

毎年夏に開催しているオープンキャンパスを今年度も実施します。多くの参加者をお待ちしております。

日時:令和3年7月31日(土)午前・午後の二回 内容:林業大学校の紹介、高性能林業機械操作

体験、個別相談コーナーなど

#### 『学校説明会』

オープンキャンパスに参加できなかった方のために、学校説明会を8月の各土曜日に開催します。

①8月7日(土) ②8月14日(土) ③8月21日(土) ④8月28日(土)

の各回10:00~12:00

#### ※事前に申し込みが必要となります。

<u>なお、新型コロナ感染症の感染状況等により、</u> 日時・内容を変更する場合があります。詳しくは 林業大学校のHPでお知らせします。

## 今月の授業参観

#### 『鳥獣被害対策』

平成29年から設置を始めた鳥獣被害防護柵が、 この6月にようやく完成いたしました。

防護柵は、府立須知高校敷地内の特にシカの 食害が深刻な畑地を金網柵で囲うように設置し、 車や人の通路部分にはそれぞれ門扉を設けてい ます。

ほとんどの学生にとって慣れない作業でしたが、獣に破壊されないように支柱を深く打ち込み、地際からの侵入を防ぐために金網をアンカーで固定するなど、暑い中でも懸命に取り組んでいました。



## 校長室より

### 自然を尊敬できる人ってどんな人? 校長森 敦司

本校は、「自然を尊敬できる人を育てたい」を教育理念に掲げております。昨年度から本校に赴任してきて、学生や保護者などから何度か「自然を尊敬できる人ってどんな人?」という質問を受けました。そこで今回は、本校の原点であります「自然を尊敬できる人」について、お話ししたいと思います。

まず、自然とは何か。これがまた実に幅が広く奥が深いのですが、ここで言う自然とは、「山川・草木・海など、人類がそこで生まれ、生活してきた場。特に、人が自分たちの生活の便宜からの改造の手を加えていないもの。また、人類の力を超えた力を示す森羅万象」(「広辞苑」より)を指しております。

本校では、この自然のうち、山(森林)に関すること、例えば、樹木に関すること、水を蓄えることや土砂崩れ防止など森林の公益的機能に関すること、木材の利用やそれにまつわる建築・文化など、ありとあらゆる森林に関することを教えることとしております。

これにより、自然の中で森林の果たす役割や仕組みを理解し、そのことで自然界全体の法則(摂理)に気づき、その偉大さを知るきっかけを作りたいと考えております。ただ単に「山が好き」とか「自然が好き」というものだけではなく、自然というものの摂理の偉大さを理解し、そのことを尊敬して、活用できる人材を育てたいと考えております。

昨今、SDGsという言葉をよく見聞きします。これは国連で採択された持続可能な開発目標で、わかりやすく言うと、私たちみんなが、一つしかないこの地球で暮らし続けられるために、地球環境や自然環境が適切に保全され、持続可能な世界を実現するために示した道案内であります。まさに本校が育てたい「自然を尊敬できる人」こそ、このSDGsに最も寄与することのできる人材であると考えております。